

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.64

10

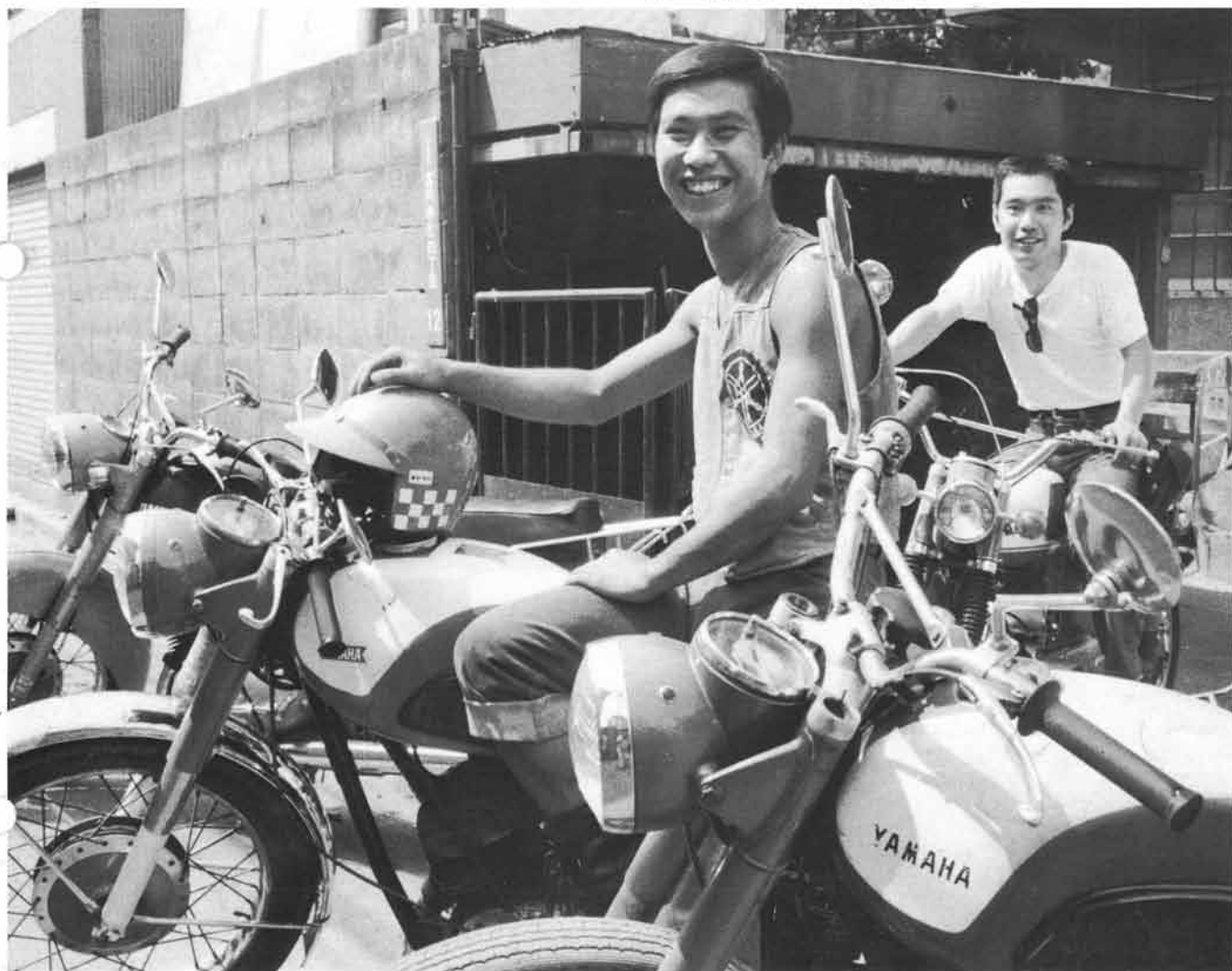


ヤマハ 41-50 USD USE



# ヤマハを5台持っています

東京都杉並区高円寺／皆川信夫・貞夫兄弟



五台のヤマハオートバイを時と目的に応じて使いわけている兄弟が東京都杉並区にいます。「ヤマハのことは一から十まで知っています。ヤマハに、心底惚れたからこそ、こうして五台も持っているんです」情熱をこめて語る皆川信夫さん（25才）と貞夫さん（21才）の兄弟です。

家業のお米屋さんを手伝う信夫さんは、ヤマハトレール100L21Cで、配達や集金にとびまわることが多く、印刷会社に勤める貞夫さんは、もっぱらヤマハYDS1でレジャーを楽しんでいます。このほか、もう一台のYDS1、YDI、そして、最近スクランブラーに改造したYGI。いずれも新車当時と変らぬ高性能ぶりをみせるのが、二人の自慢です。

兄弟がはじめて手に入れたヤマハは、175YGIでしたが、いまは貞夫さんの母校に寄付され、教材用に活躍しています。

信夫さんがいま欲しいヤマハは250DT1、貞夫さんは350RIを愛車のひとつに加えたいといっています。

\*\*\*\*\*  
表紙のことば\*\*\*\*\*

女性向けのヤマハメイト、レディ・ヤマハが発売されました。買い物に便利なバスケット、ふちどりされたシートカバー、リボンつきタイヤ、ハンドルカバーがついています。キックスターター式の50U5Dが六万円。セルスターター式の50U5Eが六万七千円です。

快調!

ヤマハPR作戦

# 男のムード各地に高まる ヤマハトレール教室

ヤマハトレール教室が各地で開かれ、新しいスポーツユーザーをどんどんふやしています。

トレール時代の夜明けを告げたヤマハトレール・シリーズの登場で、オートバイの楽しさが大きくひろがりました。アメリカで「トレール・ライドイング」という言葉が流行しているように、道なき道でも高速道路でも、あるいは沼地や砂漠でも、トレールを駆るだいたいこ味は、どこでも発見できます。

こういうトレール走行の楽しさをお客さまとともに味わい、新しいオートバイの遊びを見つけ出し出していこうというのが、各地で流行のさざしをみせているヤマハトレール教室なのです。



## 九州

九州では、ヤマハ宮崎の後援のもとに、宮崎県下のヤマハ販売店さん同士が協力して、各地でヤマハトレール教室を開いています。

六月十六日の延岡市を皮切りに、七月七日は宮崎市、八月四日は日南市で、それぞれ河原に会場を設営して開催されましたが、ひきつづき第二次、第三次のトレール教室が予定されています。

ヤマハトレールによる新しい遊びをお客さまと一緒にさがし、オートバイの需要を大きく伸ばしていこうというのが狙いです。

## 東北

東北地方のトップを切って八月四日、山形県のヤマハ特約店、後藤モーターズ主催によるヤマハトレール教室が、蔵王の特設モトクロス場で開かれました。

東北地方の第一線ライダーやメカニックを講師に、午前中はチューニングアップ教室、午後はトレール教室を開催。観光客のとり入りもあって、盛況でした。

ついで八月十一日、庄内地区最上川河原で第二回目のトレール教室が開かれ、第一回目におとらない盛況をみせま

踏み板をつかって、ジャンプの練習（山形）



ヤマハ展示即売会用のPRセットも活用して会場づくり（宮崎）





一流ライダーによる指導のあと、さあ本番スタートだ！(東京)

した。教室の終了後、気の合った仲間たちでレースを楽しむなど、和気あいあいの風景もみられました。

## 関東

ヤマハ発動機東京支店の主催によるヤマハトレール教室が八月十八日、東京八王子のサマーランド特設モトクロス場で開催されました。

有名ライダーによる指導のうち、クラス別にレースを展開。モトクロスははじめてだというお客さまも、あらためてヤマハトレールの魅力を満喫していました。



走行に移るまえに、チューニング教室でメカニック技術を学ぶ(山形)



入賞者には数かずの賞品。表彰状を贈呈するヤマハ発動機・小宮東京支店長(東京)

▶戦いおわって、パーツをとりかえれば、すぐ公道も走れる(東京)



ヤマハがお贈りする増売プランNo.3「ヤマハ展示即売会・交通安全無料点検」は全国各地のヤマハ販売店で開催され、お店からお客さまからも大好評を博しています。

センスあふれる新車群が一堂に勢ぞろいした展示即売会場に足を停める新しいお客さま、車両の点検に立寄ったおなじみのお客さまも思わず買替えの時期が早くなります。

販促に大きくプラスするこの催しの効果は長い期間にわたって余いんを残します。

ここに紹介するのは、八月十七、十八日両日にわたって「ヤマハ展示即売会・交通安全無料点検」を開催した神奈川県相模原市の中央輪業さん、原輪業さんのスナップです。



◀ヤマハのベテランセールスマンやサービスマンも手伝って「さあ、開幕の準備だ！」と中央輪業の経営者、高橋さん。



◀ヤマハのベテランサービスマンが、交通安全の折りをこめて無料点検。部品やオイルなどの売上げもあがります。中央輪業にて。

◀にぎやかに並んだ新車群が、お客さまの購買意欲をそその「年に1回、3カ月に1回と、回をかさねれば、効果もグンとあがりますね」と語るのは原輪業の経営者、原さん。

快調!

ヤマハPR作戦

ヤマハ展示即売会  
交通安全無料点検



PR用品でバーツと人目をひく原輪業の展示即売会場（セットにまとめられた会場装飾用品は、ヤマハが無料でお貸ししています）



▲一家総出でお客さまを歓迎。原輪業では、ご来場のお客さまを対象に抽せん会を開いた。

▶「あら、買い物カゴもついでるのね」ピンクの「レディ・ヤマハ」はご婦人客の関心の的。中央輪業にて。



# 富士に登る!

富士急ハイランドでは、お母さんも子供たちにまざって大はしゃぎ。



大阪、奈良のヤマハ販売店の奥さまとお子さま二百六十人が、六台のバスをつらねて富士山に登りました。

この催しは、ヤマハ発動機大阪支店が行なったもので、日ごろご主人を助けて、お店の繁栄に努力していらつしやる奥さまがたの功績にむくいるため、招待したものです。

八月二十二日ひるごろ、ヤマハの旗を先導に、東海道新幹線で熱海駅に着いた一行は、バスに分乗し、十国峠から富士スカイラインを通って、乙女峠、山中湖、河口湖と、観光コースを遊覧。間近かにそびえ立つ霊峰富士の姿に歓声を上げました。河口湖畔の湖月館に落ちついたのち、午後六時から、大広間で懇談会が催されました。

まず、ヤマハ発動機大阪支店より、日ごろの感謝をこめて、奥さまがたに表彰状を贈呈。ついで、お待ちかねの抽選会に移りました。クマやイヌのお人形、楽しいゲームのセットなど、オモチャの賞品に子供たちも大喜びです。

宴会に入ると、地元の婦人会の人びとが歓迎のしるしに八木節の踊りなどを披露してくれたり、なごやかなひとときをすごしました。

翌二十三日は、いよいよ富士登山。スバルラインをバスで登り、五合目に到着しました。

大自然の空気を十分たんのうしたのち、富士の裾野の大遊園地、富士急ハイランドに向い、奥さまがたも童心にかえって、お子さんたちと一緒にはしゃいでいました。

6台ものバスをつらねたヤマハ家族。十国峠からの眺望を楽しむ。





快調!

ヤマハPR作戦

# ヤマハ家族



富士五合目付近を馬で見物「ボク、馬もオートバイも大好き」



「ワァノ富士山だノ」雲が薄れて、突然姿を現わした富士に子供たちはビックリ。



観光客でにぎわう河口湖「まあ、ヤマハボートがいっぱいだよ」

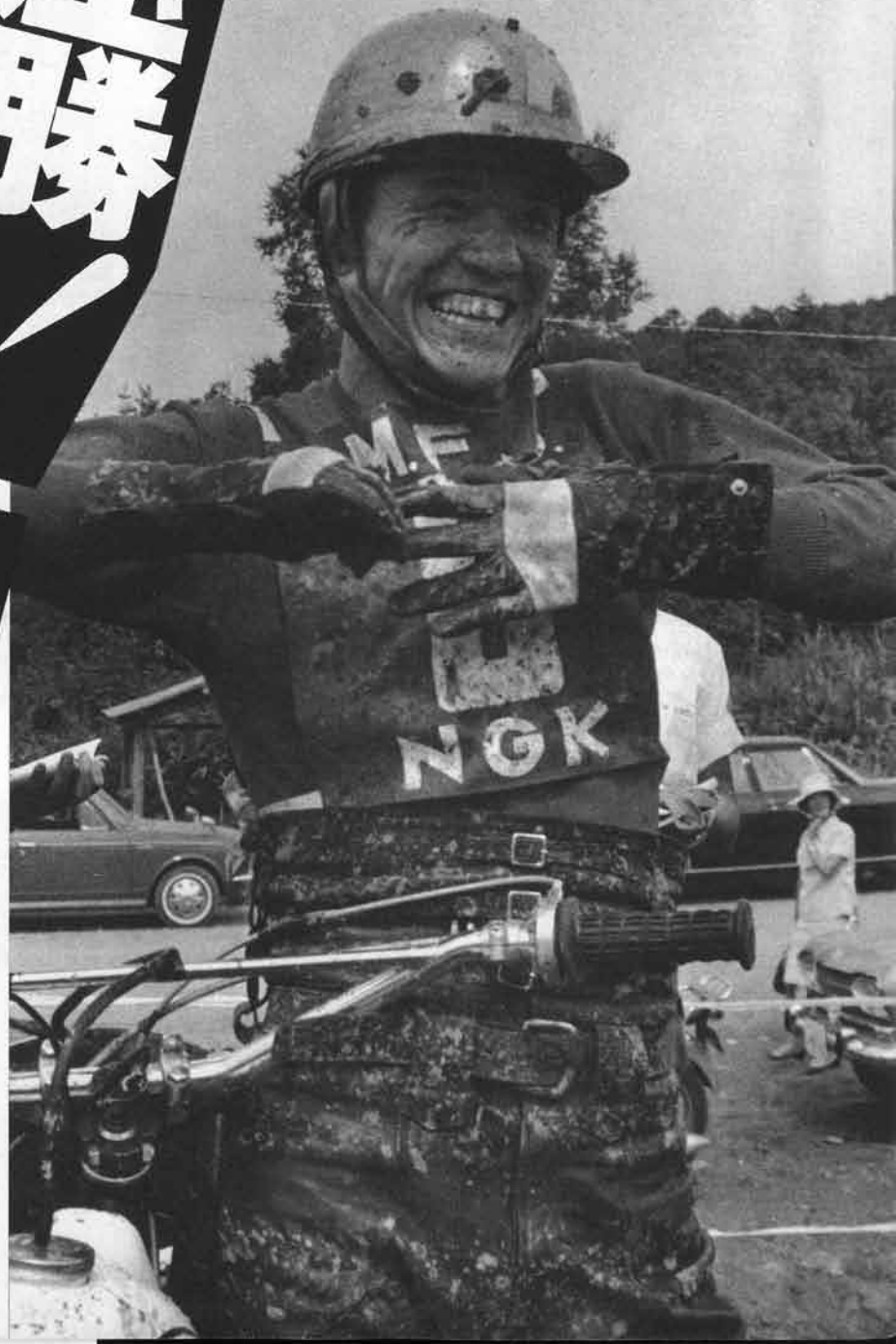
歓迎の花火が打ち上げられるなかを、河口湖畔のホテルに入る一行。

注目のモトクロス日本グランプリ大会において、出走各クラスのヤマハ車はいずれもはなばなしい活躍ぶりを見せて圧勝し、メイン・イベントのセニア部門二五〇cc級レースでは実力ナンバー・ワン、ヤマハトレール250DTIを駆る鈴木忠男選手（スポーツライダース）が堂々たる優勝をとげ、昨年ひきつづき輝く二連勝を飾った。

ヤマハ圧勝！

モトクロス日本GPで輝く二連勝

モトクロス日本GPに2連勝し、快心の笑みをもらす鈴木忠男選手





アマチュア 250ccクラスで抜群のつよさをみせて優勝した鈴木秀明選手



DT1 勢ぞろい。アマチュア、ジュニア、セニアの腕の差はあろうとも、マシンは実力ナンバーワンのDT1だ。スポーツする若者たちの間で、DT1は最高の人気をあつめている



ゴールするDTI



ラップするDTI



かけ登るDTI



DTI同士の激しい競り合い。すどとい追込みをみせているゼッケン190番は地元・北海道の中村明選手（函館セフングループ）で、250ccクラスの2位に入賞した。



グランプリ最大のイベントであるセニア部門二五〇ccクラスでは、ヤマハ、カワサキ、スズキの激突で、鈴木忠男、山本隆、星野一義、歳森康師、矢島金次郎など、そうそうたるメンバーが覇を競ったが、DTIの実力を存分に生かした鈴木忠男が圧倒的な強さを発揮してトップを独走、二万を越える観衆の視線を一身にあつめて優勝のゴールをかちとり、昨年のグランプリにひきつづいて輝く二連覇を達成した。またこのレースは北海道放送をキー・ステーションにカラーTV放送され、DTIのアップ・シーンが話題となった。

なおヤマハ車はこのほかに、アマチュア部門一二五ccクラス、二五〇ccクラス、二五二ccクラスの優勝を独占した。

今回のグランプリでとくに目をひいたことは、トレール時代の夜明けを告げたヤマハ250DTIの圧倒的な出場数で、アマチュア部門はもとより、ジュニア、セニア部門で多くのマニアがDTIのハンドルを握って技倆を競いあっていた。また一二五cc級部門ではヤマハ125YA6が健在ぶりを示し、アマチュア部門ではあこがれのマシンとなっていたことが印象的であった。

モトクロス日本一をかけて行なわれる恒例の全日本選手権モトクロス日本グランプリ大会（主催・MFJ）日本モーターサイクル協会）は八月十一日、開道一〇〇年を迎えた北海道にコースを求め、札幌テイネ・オリンピック特設会場に二五〇台の出走車と二万人を超える観客をあつめて盛大に行なわれた。レースはアマチュア、ジュニア、セニアの三部門に分かれ、五〇cc、九〇cc、一二五cc、二五〇cc、二五二cc以上の五クラス八レースの熱戦で、ヤマハ車を駆って出走した若いメイトたちは日頃の鍛練ぶりをフルに発揮、モトクロスの醍醐味と勝利の快感を心から満喫したものであった。



D.T.I.だんせんトップ！モトクロス界の王者・鈴木忠男選手（スポーツライダーズ）はメイン・イベントのセニア部門 250ccクラスで、昨年ひきつづき晴れの優勝を獲得した

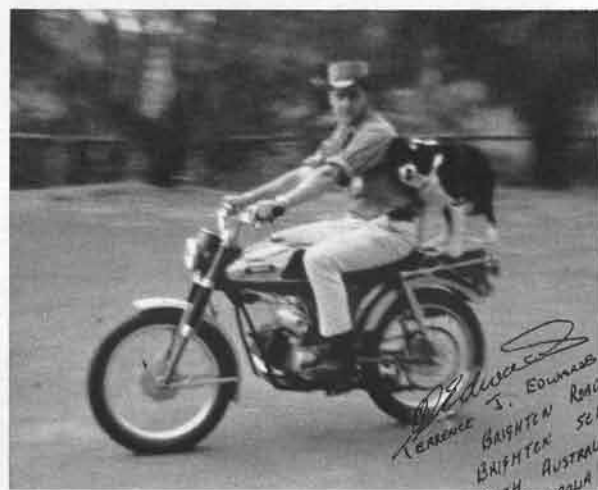
D.T.I.を持ってはみんながメイト。熱戦を終わって、すっかりうちとけて語りあう251cc以上の優勝者 224 山下和男（東京スリーホークス）と同2位 212 古川忠雄選手（我孫子M.C.）



アマチュア125ccクラスに優勝した鈴木秀明選手（東京スネークス）。Y.A.6はタフな車ですからネ、ゼツタイの自信をもっていました……という鈴木選手は250ccクラスにもD.T.I.で出走し、みごと勝利をかちとった



## RENSAI 愛のバイク お宝利



●メイトの話題

## ヤマハファンの牧場犬

この写真は、ヤマハに乗るわたしの義理の兄です。南オーストラリアの北端にある彼の羊牧場で撮影したものです。わたしがこの写真を日本のみなさんに見せたいと思ったのは、実は、一緒に乗っている犬の「ビーター」のことなんです。ビーターは、だれの手も借りずに、こうした格好でヤマハに乗ることをおぼえました。七十平方マイルをこえる牧場を走り回っています。車から落ちたのは、ただの一度だけです。ほかに、牧場で働く犬はたくさんいますが、こうやってオートバイに乗りたがるのはビーターだけです。いつも後部座席にきちんとすわり、ほかの犬のように、燃料タンクやハンドルの方まで越えていってしまうことはありません。わたしたちの町では、かなりの話題になっていますが、日本のみなさまにとっても興味があるのではないかと思います。

南オーストラリア ブライントン  
T. J. エドワード

Mr. and Mrs.  
Harold Holter

YAMAHA OF TULSA  
2623 E. 11th St.

●読者のページ

## オクラホマでも DT1が快勝!

最近のヤマハニュースを拝見して、ヤマハトレール250 DT1にかなりのスペースをさいておられるのに注目しました。DT1はほんとうにステキなトレールマシンであり、オクラホマのあちこちで開かれるダートトラックレースでも、すばらしい記録をつくっています。

ここタルサ市で行なわれた最近のレースでも、DT1に乗ったわれわれタルササイクルスポーツのライダーたちは250ccクラスで一、二位、500ccクラスで三位、そして650cc以上の車も参加したオープンクラスでも優勝しました。ライダーたちは非常な名誉を勝ち得たわけです。

このように、荒地走行やレースに最上のヤマハがたくさんそろったのは、われわれがヤマハの販売店になってからはじめてのことです。感謝します。

アメリカ オクラホマ タルサ  
ハロルド・ホワイティズ夫妻

# 高収益の用品・部品で お店を楽しく…

ヤマハニュースNo.63で四日市の「第一自動車パーツセンター開設」を掲載しましたところ、自店の改装資料にもっとくわしく知りたいとの要望がたくさんありましたので、こんどはカラーで内部の模様をご紹介します。

▼パーツコーナーに、車のセールスも兼ねたカワイコちゃんを配すのも、店頭増販の一方法です。





個性的な車に乗りたい。限定した用途にレベルアップした性能を引きだしたい。など、最近のユーザーに応じて、ヤマハでも豊富なオプション・パーツや、美しい用品を充実しつつあります。高収益、安定収入の部品・用品で、楽しい、しかもモウかるお店をつくりあげてください。仲間がぐんと集まります。



▲店内に予裕があったら、つりボートなどの販売もいかがですか。通産省の積極的な育成方針も決って、いよいよ本格的なボートブームがやってきそうです。

▶外観もカラフルに。マンガなども使って気軽に入りこめる雰囲気をつくっています。







▲壁面やショーケースには、若者たちの眼をひきつける用品やレーシング・パーツがいっぱい。もちろんウインドにはスポーツタイプ・ヤマハがずらり並んでいます。

# あなたのお店の ステッカーをつくりませんか

あなたのお店だけの楽しいステッカーをつくってみませんか。新車はもちろん、修理に立ち寄ったクルマにも貼ってあげてください。カッコいいステッカーなら、みんなよろこんでつけてくれます。あなたのお店の動くPR車です。





## モトクロスにあらざ オーストラリアで トレール走行が大流行

道なき道を豪快につっ走る、ヤマハトレールの爽快さをオーストラリアのファンたちは満喫しています。面積が七百七十万平方メートルで、地形の変化に富むオーストラリアでは、ヤマハトレールの性能をフルに楽しむ場所に恵まれています。

おまけにスポーツ好きの国民性とおまけはヤマハトレールにとびつくのも当然です。



## クワンガイ・オン・タフバイク

写真のタフ・ガイは米国のF・ホイラー君（三十才）ですが、名は体をあらわしてその職業はオートバイのセールスマン。趣味と実益を兼ねてセールスツーリングには必ずオートバイを利用しています。その行動範囲は北米・中南米・カナダにわたり、五年間に三万三千マイルを走破しました。

今年までの旅行で一番印象に残っているのは、メキシコ領のパチャーカーリフォルニアの砂漠を七馬力のヤマハ80に乗って七十六時間で往復した旅です。小さなヤマハはこの六フィート五インチ、二二五ポンドの大男を乗せて、道なき道の二千マイルを見事ノートルラブルで走破したのです。全く専門家も舌を巻くほどヤマハのオートバイはタフですね。

# トピックス

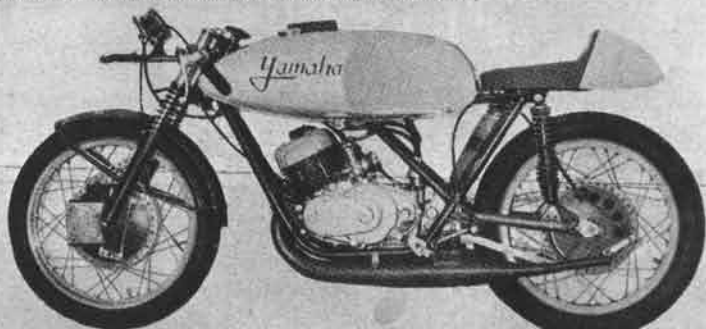
## 工業見本市で人気あつめたヤマハ

日刊工業新聞社主催の「第三回全日本工業見本市」が八月十五日から五日間、札幌市中島公園内の特設会場で開催されました。この見本市は北海道で開催される唯一の総合的な工業製品のショーとして話題をあつめているものですが、ヤマハ発動機株式会社北海道支店では三号館に新商品ヤマハスノーモビルをはじめ北海道のモトクロス日本GPで優勝したDT1、各種のトール車、そして、ポーター、船外機を展示、躍進ヤマハの威力を示して注目をあつめました。



At 6ft 1in, he is unusually tall for lightweight rides, but his 11st 4 lb is on the right side.

Low, lean lines of the Yetman-framed Yamaha. Forks, wheels and tank are standard Yamaha



corners but Beckett's, I never

## 7ポートのヤマハレーサー イギリスで威力を発揮

国際レース界で盛名を馳せるヤマハ250cc TD1-Cの変り種が現われました。

この市販レーサーの出力装置最大の特徴は5ポート方式のシリンドラーが備えられていることですが、英国のD・ブラウニングの手になるこの変り種は補助掃気孔の数が更に二つ加えられた。7ポート方式になっています。すでに現地のレースに幾回か出場していますが、その高性能ぶりは定評を得ています。

## 自動二輪ばかりの大ツーリング会

池田モーターズ(群馬)「ヤマハ群馬発」ヤマハスポート350R1や305M2、M1などヤマハの自動二輪車ばかりの遠乗会が、群馬県北群馬郡子持村の池田モーターズ主催で行なわれました。

池田モーターズでは、年に数回、遠乗会を排気量別に開いています。が、八月二十一日から三日間にわたって行なわれたこの催しも、その一環です。浜名湖や芦ノ湖をめぐる行程八百十六キロにおよぶ大ツーリングで途中、昌和製作所やヤマハ本社工場も見学しました。



## 運転免許試験場にヤマハ十五台納入

(ヤマハ栃木発) 栃木県の交通安全協会に十五台のヤマハYA6が納入されました。

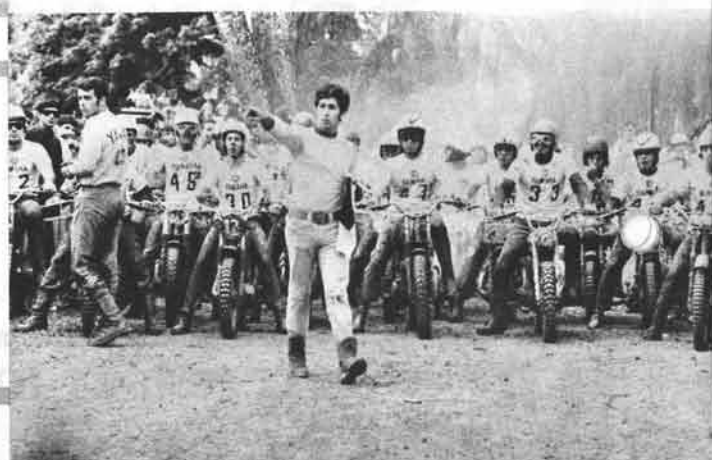
県下の自動車運転免許試験場で試験車として使用されるためです。試験を受けにきた初心者が転倒しても負傷しないよう、バンパーをとりつけたり、試験官が採点しやすいようギアを入れかえることにフラッシュャーランプや赤色のランプが点滅するように改造されています。



## 話題を呼んだ ミス・ソンプレロコンテスト

ヤマハ・ソンプレロ・セールにタイミンクを合わせて、ヤマハ群馬では、群馬県のミス・ソンプレロを選出し、ようと、六・七月の二カ月間にわたって、コンテストを催しました。

すい選された美女の中には八十才のお婆さんも現われるなど波乱万丈。  
みごとミス・コンテストの栄冠に輝いたのは、上信電鉄・高崎サービスセンターにお勤めのお嬢さん、小金沢節子さん（21才）です。岩井商会のご主人、岩井市郎氏も、すっかりご満悦でした。



## ヤマハファンばかりのベネズエラ モトクロス

ベネズエラはヤマハファンの多いところですが、ここに紹介するレースは出場車のほとんどがヤマハで、ライダーも胸にヤマハマークをつけて出場するありさま。  
まさにヤマハデーの感がある一日でした。



## 埼玉SRが圧勝 ヤマハ栃木主催の 茂木モトクロス

〔ヤマハ栃木発〕ヤマハ栃木オートクラブ主催の第三回ヤマハ茂木モトクロス北関東大会が、折りからの台風四号の影響で小雨まじりの七月二十八日（日）栃木県茂木町の那賀川河原モトクロス場で開催されました。  
結局、総員ヤマハを駆って出場した埼玉SRボーツライダースが、決勝六種目中、五種目の優勝杯をさらいました。会場では、地元の販売店によるヤマハ展示会が開かれました。

# トピックス

## 新しいヤマハPR用品を、活用ください

お店の販促に役立つヤマハのPR用品が、また一段と充実しました。  
雑誌平凡パンチなどで紹介され、話題を呼んだサイケデリックなポスター。工業技術院賞、ADC賞の受賞、アジア広告会議コンテストの優勝と、数かずの賞を受けた、おなじみヤマハトレール250DT1のポスターを、ご希望のお客さまにお分けしています。  
その他、新しいデザインのキーホルダー、サインペンなど、お店の行事のさいの記念品や、お客さまへのサービスにご利用ください。  
開いて楽しいヤマハトレール250DT1の豪華カタログやマンガヤマハの第二集も完成しました。お客さまとの話題をひろげます。  
お店を印象づける清潔なツナギ服も廉価でお分けしています。ご利用ください。



▲ヤマハトレール250DT1 豪華カタログ 12頁



▲マンガヤマハ 第2集



▲ポスター カラー版 (1030ミリ×728ミリ)



▲ヤマハウェア



▲サインペン



▲キーホルダー



▲ポスター カラー版 (1030ミリ×728ミリ)



▲ポスター 1色 (500ミリ×420ミリ)



## モトクロスで人気のマト、ヤマハトレール250DT1

〔九州支店発〕第一回北九州モトクロス大会が七月十四日、かつての黒ダイヤの町、直方市を流れる遠賀河原で行なわれました。  
当日は、あいにく朝から雨がひどく、最悪のコンディションにもかかわらず、参加選手も、ファンも雨の一日を楽しく過しました。  
またこのレースで、好評のトレール250DT1がスタントード仕様のままで出場し、その素晴らしい性能が注目のマトとなりました。

# ピットマン MONTHLY FOR MEN

## 青年よ大誌を抱け!

現代に飛躍する ヤマハファン にピッタリの青年のコミック誌。つねにコミック界の先頭をつっぱしりSFエロチカなど多彩な内容です。

毎月29日ごろ発売

小学館



白土三平



手塚治虫



さいとう・たかを



石森章太郎



水木しげる

豊富にそろった「ヤマハPR用品」をあなたのお店の販促にどしどし活用ください。

こんにちははヤマハです。ヤマハを売れば、冬、また楽し

# 新商品、ヤマハスノーモビルの登場に 大きな期待を寄せるヤマハ販売店

北海道山越郡八雲町 川口モーターズ／阿部モーターズ

というわけです。

この八雲町にあつてめざましいばかりの発展をとげているヤマハ販売店・川口モーターズさん、阿部モーターズさんも、この冬にはヤマハスノーモビルで大きな業績をあげようとはりきっているメイトです。函館の谷口モーターズさんから紹介をうけた編集子は、「こんにちは、ヤマハです」と、さっそく八雲町を訪れてみました。

函館から急行で一時間半、内浦湾の美しい海岸線を右手に見ながら気動車にゆられていきますと、酪農と漁業を中心に発達した北海道山越郡八雲町に到着します。市街には函館と札幌とを結ぶ国道5号線が走り、交通の主要地ともなっていますが、道南きつての豪雪地帯で、冬は三メートルも越える積雪がめずらしくありません。それだけに新開発の小型・軽量・高性能の雪上車「ヤマハスノーモビル」にかける期待も非常に大きなものがある

## 採点は甲の上 夏冬ヤマハで業績アップ。

国鉄・八雲駅前の交差点から、国道5号線を北に向って七・八〇〇米も走りますと、道はゆるく右にカーブしながら下っていきますが、その下りかけた右側に、ひととき大きなヤバネの指定看板をかかげたヤマハ販売店があります。川口モーターズさんです。

ご主人の川口泰さんは、この道四十年というベテランで、ご子息の矩史さんのほか船山さんと田中さんの協力を得て積極的な販売方針をうちだしていることでよく知られています。またメカニックにかけてもすぐれた腕前

をもち、旧型の自転車取付けエンジンをベールにプロペラを加工、これをバイクに取付けて滑走するオートバイをつくりあげて近在のマニアの注目をあつめたこともあるほどの。このプロペラ車はヤマハ船外機を応用した第2号車まで手がけましたが、つねに独創的なアイデアを活かしてお客さんとの交流をふかめています。

いまでこそ折りたたみ式の自転車はめずらしくありませんが、自転車メーカーが手がけずつと以前に折りたたみ式の自転車を手が

会社 谷口モ

人気爆発の

ヤマハ〈雪上車〉  
スノーモビル

今秋発売予約受付中



YAMAHA

“人気爆発のヤマハスノーモビル、今秋発売予約受付中”の立看板も派手に、積極的なPR活動がすすめられている(函館市・谷口モーターズ)。



川口自転車商会さんのお店と、技術と信用を売  
る店のみなさん。



「ヤマハの船外機も好評ですよ」お父さんは船  
外機を使ってプロペラ車をつくったこともある  
んです。そばで奥さまのますさんがニコリ。



このサポテンは南米産のもの。50年かかっ  
ているものですが、ヤマハスノーモビルも手か  
けて大きく育てたいですな…と川口泰さん。

一としの2月、デモンストレーション用の  
ヤマハスノーモビルで狩をしてきた。うの

# 人気は上々 ヤマハスノーモビルで冬も活発に

は八雲高校西校舎前でヤマハ販売店・阿部モ  
ーターズを営む阿部昌勝さんです。

けたのも川口さんの大きな誇りとするところ  
です。市販された折りたたみ式の自転車か川  
口さんのアイデアと殆んど変わっていないこ  
とでも、川口さんは大いに自信をふかめたも  
のでした。その川口さんが、これこそと期待  
をかけている商品が、新開発の「ヤマハスノ  
ーモビル」です。

雪の多いところだけに、雪上交通の不便さ  
を身をもって知る川口さんは、モニター用の  
ヤマハスノーモビルが北海道にわたるや直ち  
に自からハンドルをもってその性能を確かめ  
ましたが、採点は「甲の上」、夏はヤマハオー  
トバイを、そして冬はヤマハスノーモビルを  
と、早くもPR作戦を開始しました。

**雪上交通を一変させる立派な商品**

川口さんは熱っぽい口調で語ります。  
「ヤマハのオートバイは高品質・高性能で  
お客さんから絶大な信頼をうけています。  
が、この辺は、道南でも非常に雪の多いとこ  
ろで、冬はやはり商売になりません。整備や  
修理で春を待つほかないんです。

最近では除雪作業も機械化されて、国道筋な  
ど主要道路はどうか走れるようになっては  
きていますが、メインロードから一歩でも外  
れますと、もう雪で動きがとれぬということ  
になってしまいます。だから、冬でもオート  
バイに乗る人、いや、乗れる地区はごく限ら  
れたもので、せいぜい全体の三分の一程度  
の人が稼動しているにすぎないんです。

オートバイから昇格して軽四なんかに乗っ

ている人も、幹線道路から外れますと春まで  
待つほかないんです。だから、そういうところ  
の人は、町中にガレージを借りて、車をお  
りてからは自宅まで徒歩ということになるん  
です。ほんとにワリにあいません。

また八雲というところは古くから酪農が発  
達しているところで、平均して十四、五頭の  
乳牛を飼っており、専業のところでは三十頭  
から四十頭は飼っています。それで、雪にか  
こまれてしまう冬は、牛乳の搬出が大仕事な  
んです。なんせ、馬も泳いでいくぐらいに雪  
でうずまってしまいうくらいですから。

そんなとき、ヤマハスノーモビルがあれば  
重宝するでしょうね。だいたい酪農を営んで  
いるところでは殆んどの家が軽四トラックを  
もっていますが冬は冬眠させている状態です  
からね。軽四トラックがわりに活躍させれば  
実用価値は大きいですよ。

わたくしも、この冬に初めてヤマハスノー  
モビルに試乗したんですが、運転のやさしい  
ことといい、加速のきくことといい、スピー  
ド、チカラのあることで、「甲の上」と採点し  
ましたが、とにかく新開発のヤマハスノーモ  
ビルは、雪に閉じこめられる地方の人々の生  
活を大きく変えさせるでしょう。立派な商品  
をつくってくれました」

これから迎える冬のシーズンを前に、ヤマ  
ハスノーモビルの活用をあれこれと考  
えて売り込みのスタートにそなえている川口モ  
ーターズさんです。

ヤマハスノーモビルは雪上交通の革命児。冬  
の生活を活動的にする雪上の万能車です。



こんにちははヤマハです

# ヤマハを売れば 冬また楽し



「ヤマハを売れば、冬また楽し」 高品質・高性能のヤマハオートバイとならんで、ヤマハスノーモビルも大きな人気をあつめよう。



冬の鉄砲打ちにもってこい……と、新商品ヤマハスノーモビルの発売で、冬の業績アップを図ろうと抱負を述べる阿部昌勝さん。

阿部さんは二十七才という若さだけに、すぐ行動性に富んでいます。若い仲間をあつめて八雲モータースポーツクラブを設立したのも阿部さんの働きで、YP1をベースにモトクロスを手がけ、レースに陣頭指揮をふるったこともあり。阿部さんの行動力に若い仲間の厚い信頼が寄せられているのです。阿部さんは90ccクラスを中心にヤマハのメイトを次々に増やしていますが、やはり冬は商売の効率がぐんとさがるのは避けられないところ。と。

「とにかく、山間部では三メートルも越える積雪があるんですからね。国道筋は除雪されるといつても、巾はぐんとせまくなってしまい、行動半径も限られたものです。ですから商売は、もっぱらサービス関係だけとなつてしまいます」

と語る阿部さんですが、ことしはヤマハスノーモビルの発売で、大いに業績を伸張できるといままでになくはりきっています。

「馬そりが交通の主役となる積雪地では仕事の能率もガタツとおちてしまうのはやむを得ないことですが、ヤマハスノーモビルの登場で、これからはより活動的な作業が行なわれるようになるでしょうね。」

ことしの2月に、ヤマハスノーモビルの試乗会があったのですが、雪上を五〇キロか六〇キロ/時のハイ・スピードで走り、しかも小回りがきく性能に、お客さんはみなびつくりしていたようです。

「ヤマハスノーモビルの上々の評判で、冬のセールス活動に大きな自信を持ったという阿

部さんは、さらに言葉をついで需要層を次のように分析しています。

## 実際に、レジャーに、広い需要

「初めて乗ったヤマハスノーモビルで、兎狩りにいったのですが、守猟用にはピッタリの乗り物ですね。アクセル一つの簡単な運転操作で、平地はもとよりかなり急な斜面もずんずん走破しますし、乗り降りの面倒さはまったくないし、まったく手軽です。」

レジャー用としては守猟用に最適の乗り物といえます。またスポーツ用としても若い人の注目を浴びることでしょう。また実用面では酪農関係の集乳、造林関係で山の見回りや木材の搬出、そして、連絡やソリをつけての荷物の運搬など、用途は広いですね。病院などでは救急用としても大いに活用させたいところ。もちろん町の電気屋さんなど、一般の業務やセールス、サービス用の足としても雪上の万能ぶりが人気をあつめることでしょう。

とにかく、魅力ある商品を開発してくれました。これで、冬の商売もかなり積極的にもつていけるでしょう」

「ヤマハを売れば、冬また楽し」、阿部さんは若さにあふれた力強い言葉で、こういきました。

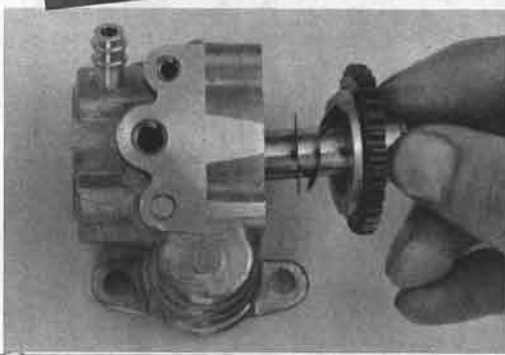
北海道に限らず、長い冬を雪に閉じこめられてしまう積雪地の生活も、ヤマハスノーモビルの登場でより明るいものとなり、活動分野をさらに広げることでしょう。

どうぞ、新商品ヤマハスノーモビルに二期待ください。

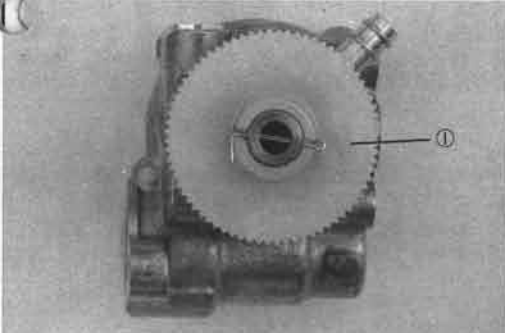
# 来るまで



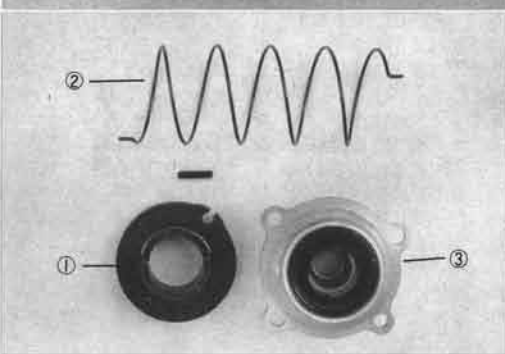
オートループはヤマハの代名詞、いや2サイクル・エンジン  
の分離給油方式を示す代名詞ともいわれます。  
それというのも、2サイクル・エンジンに分離給油方式、  
すなわち混合ガソリンを使わずに、オイルは必要などき  
必要な量だけおくる方式を世界でまっさきに実用化した  
のがヤマハであり、それがオートループだからです。  
今回はヤマハ販売店さんならすてによく知っていられ  
るオートループですが、その組立てと、テスト模様をお  
目にかけてみます。高品質をめざすヤマハは、オートループ  
を自からの手で生みだし、自からの手づくり、一機一  
機げんみつなテストをしてみなさまのお手もとに届けて  
いるのです。



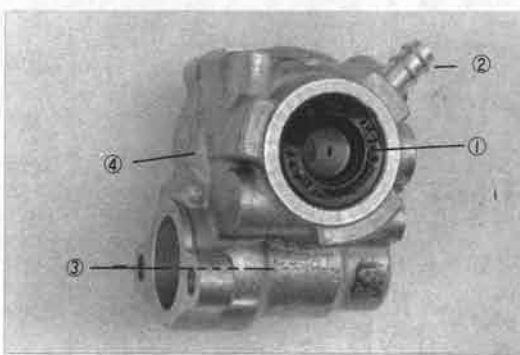
**4**  
そして組立てられたウオーム  
ギヤとデイストリビューター  
がポンプケースに組込まれま  
す。



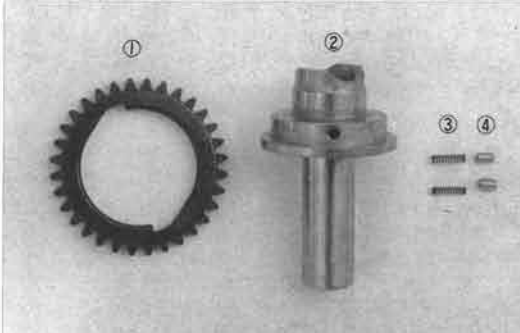
**5**  
組込まれたウオームギヤとデ  
イストリビューターに①スタ  
イタープレートを取付けられ  
ます。



**6**  
次はアジャストブリーリーの組  
立てです。①アジャストブリー  
リー、②リターンズプリング  
③カバー



**1**  
まず本体、①オイルシール  
②サクシヨンパイプ ③イン  
ナーメタル それぞれが④ポ  
ンプケースに圧入されていま  
す。

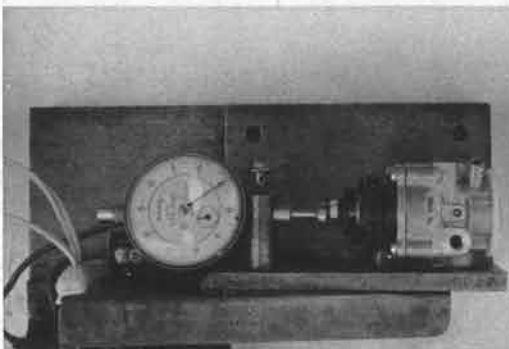


**2**  
①ウオームギヤ ②デイス  
トリビューター ③スプリング  
④ピン これが次のように組  
立てられます。



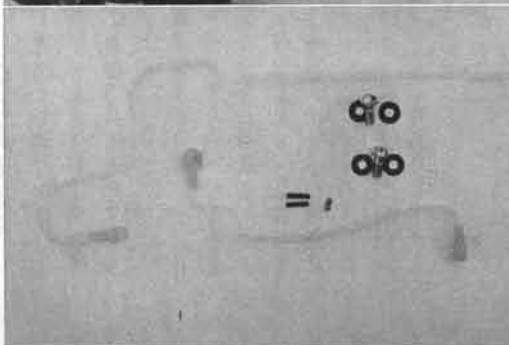
**3**  
これがウオームギヤとデイス  
トリビューターを組立てた状  
態のものです。

# オートループの出



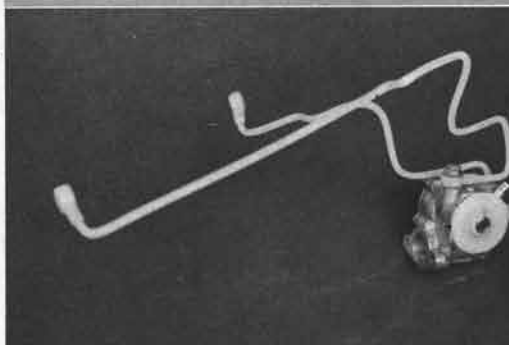
12

まず機能のテストです。これはオイル量の調整、すなわちプランジャーの最小ストローク(0.20-0.32mm)の調整で、専用の計器を使ってテストされます。



13

最終工程で①デリバリーノイプ②バンジョーボルトなどが取り付けられ……



14

ポンプは完成されますが、このあとさらに気密テスト、オイル流量測定テストが行なわれ、エンジンに組付けられるのです。



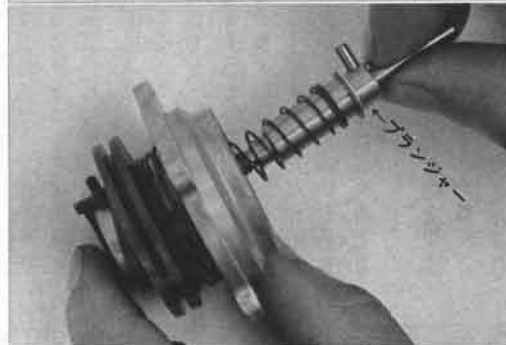
15

回転テーブルのオイル流量測定器。



7

アジャストブリーが組立てられた状態です。そしてこれに……



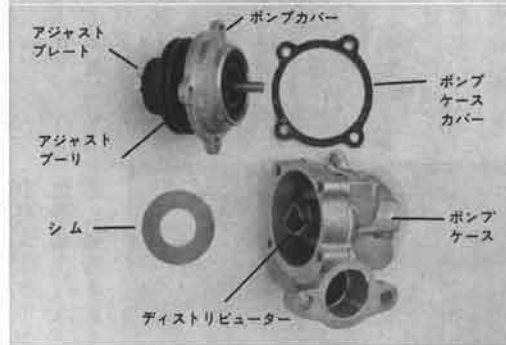
8

プランジャー部品が組込まれます。



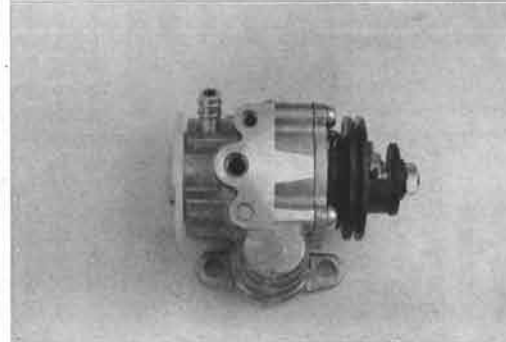
9

アジャストブリーにプランジャー部品が組込まれた状態です。



10

これは最終的なポンプの組立て部品です。



11

組立てられたオートループのポンプ。しかしこれで完全にいえるものではありません。

訂正 8月号のヤマハ・スライド講座の写真⑫と⑬が入れちがってしまいましたので訂正いたします。

## 東京モーターショーの出品まき

★恒例の東京モーターショーも間近かに迫りましたが、ことしはラビットが二十三年の歴史を閉じ二輪は四社、かわってイタリアからランプレッタが参加します。

【二輪車新聞】自動車工業振興会は二十三日の理事会で、十月二十七日から十一月十一日まで東京晴海で開催する第十五回東京モーターショーの出品状況を報告したが、これによると今年のショーの二輪車メーカーの参加はホンダ、スズキ、ヤマハ、カワサキの四社で前回はさらに一社下まわった。また外国四輪車の出品は今年もないが、二輪関係にイタリアのランプレッタ（スクーター）が初めて出品される。（八月一日）

## 二輪需要に明るい話

★軽四などの伸張で、このところ二輪需要が伸び悩みにあるともいいますが、どうしてと調べて、二輪の潜在需要層はまだまだ開拓されつつあるものでないという明るいニュース。一つはモトクロススの爆発的な人気、もう一つは男のスポーツとして二輪スポーツ熱がもたら急上昇の気運にあるということです。

【交通タイムス】今年も一月二十一日の関東モトクロススを皮切りにして数多い大会が開かれていますが、MFJの全日本選手権シリーズ戦では各大会とも参加車が二百から三百台と多い。これは前年実績の五〇%以上という驚くべき伸びで、同選手権シリーズ第五戦の東北モトクロス大会では十勝沖地震直後にもかかわらず三七九台が参加した。さらに七月七日の第六戦岡山モトクロスでは四八九台と五百台に近い線。

高い安全性にもかかわらず、他に類を見ない豪快で野性的なスポーツ性、それでいてとりつきやすいメカニクスの楽しみなどがこのモトクロススの人気を呼んでいるということらしいが、いよいよ二輪スポーツ時代到来の感がある。

NHKがこのほど調査し、このころによると

高校生十名のうち一〜二名は完全なスポーツ・マニアで、活発な二輪によるスポーツ活動を行なっていることがわかった。さらに残り三〜五名が二輪スポーツ車を改造中か購入準備を行なっている熱心なファンで、けつきよく高校生の約五〇%が二輪スポーツ人口になるといえる。

カッコいい若者のスポーツという点で二輪車が彼らの心をとらえたようだが、NHKではさらに掘り下げた調査を行ない二輪スポーツの将来についていくという。（八月一日）

## 波に乗るポーター産業

★わが国で初めてのポーター白書が運輸省から発表されましたが、それによるとポーター産業は将来性に富む魅力ある企業で、今後は世界市場に大きく伸びるべき業種とされています。【朝日新聞】モーターポーターやヨット熱の高まりで、ポーター・メーカーはこのところ大いそがし。ここ二年で生産量が四〜五倍に伸びるというすさまじさだ。運輸省船舶局もこの産業の将来性に目をつけ、初めてポーター白書（わが国ポーター工業の現状）をまとめた。

白書によると、ポーター（モーターポーターとヨットの船体部分）の生産は三十八年度の千六百隻、四億五千万円から、四十二年度には



朝日新聞8月2日号「波に乗るポーター産業」の記事で紹介されたヤマハ新居工場の写真

一万八千隻、二十億円へと急上昇した。四十三年度も需要に応じきれないほどの好況で、二万七千隻、三十億円を越えるのではないかとみられている。最近のポーターは九月までが

強化プラスチック製。木船の割合は年々さがっている。

最近のブームにもかかわらず、日本のポーター普及率は二千人に一隻と、米国（二十五人に一隻）、ノルウェー（七十人に一隻）、英国（二百二十人に一隻）などの諸国に比べてまだ低い。そこで、運輸省は輸出産業として伸ばすためにも、まず国内需要を高コストを下げる必要がある、として①艇置場（マリナー）などの施設整備 ②いま全長六メートル以上のポーターにかけられている四〇%の物品税の税率を引下げる ④規格化による量産体制の整備、などの施策を考えている。（八月二日）

## イタリア製のヤマハRD56レーサー

★といっても、これはプラモデルのこと。ヨーロッパのマニアの間で好評を博しているイタリア製モデル・レーサーのラインアップに加わった「ニューモデル」です。

【モーターサイクル】世界最強のワークス・マシンとして、65年、66年の二年連続してチャンピオンシップを獲得したヤマハ二五〇RD56レーサーがイタリアのモデル・レーサーに登場して大きな人気をあつめています。すでに発売されて久しいモリーニ、ベッネリ、



ヤマハRD56の模型

ジレーラ、モト・グッツイ、モデルなど、をしのいで、玩具店からとぶように売られている。そのお値段は邦貨に換算して二千三百円です。（八月十四日）



# もと白バイの店主さん

北海道上川郡美瑛町

美瑛商会 滝川久雄さん

整備も運転なみのベテラン、夕食を忘れて作業に精をだす。もと白バイのコワさ？はまったく感じさせない。奥さまはもっぱら帳簿をうけもっている。



白バイ隊員として活躍していた当時の滝川さん。

白バイのお巡りさん……と聞いただけでギョッとする人がいるかも知れませんが、そのお巡りさんがヤマハに惚れこんでメイトを増やしています。といても、もちろん現職のお巡りさんというわけではありません。

北海道第二の都市、旭川市から南へ二十軒ほど下ったところに美瑛（びえい）という町があります。日本で最大の山岳国立公園として名高い大雪国立公園のすぐそばで、十勝岳の雄姿が抑ぎみられるところです。ここでヤマハ販売店・美瑛商会を営む滝川久雄さんはもと北海道警察旭川方面本部に籍をおく白バイのお巡りさんであったのです。

昭和二十七年四月、北海道警察巡查を拝命した滝川さんはちょうど十年にわたり、主に交通畑を担当してきました。白バイにまたがって交通の指導、取締りにサイレンを鳴らせば、パトカーのバンドルをにぎってニラミをきかし、またあるときは法規講習の教鞭をとっていたのです。それだけに交通法規にかけては文字どおり筋金入り。一八〇度転換して商売替えをしたいまも、お客さんに求められては法規の解説、あるいは免許の取り方を懇切に指導して人気を博しています。

「おかげさまで、商売は順調にすすんでいますが、白バイに乗っていたことでは、商売にプラスもあればマイナスもありました。お客さんの中には、現職時代に私に指導、取締りをうけた人もいますものでネ」

という滝川さんですが、誠心誠意をモットーに、夜の七時、八時まで夕食をおいてもサービスに精をだす滝川さんには妥協をゆるさぬきびしい姿がありました。

# 新発売 ヤマハスノーモビル



ヤマハスノーモビル S-350(写真)  
現金正価 28万円  
ヤマハスノーモビル SD-350  
現金正価 34万円

発表以来、数かずの話題を呼んだ雪上の万能車「ヤマハスノーモビル」が、需要期をひかえて新発売されました。積雪地の交通に革命をまき起す、待たれていた車・ヤマハスノーモビルです。

アクセル一つの操作で、0→100メートルを九秒で走れば、二十五度の急斜面もラクラク登る。500kgの荷物をグングンけん引する力強さです。

しかも運転は、自転車に乗れない子供でもできるほど、簡単です。普通車の免許があれば、道路も走れます。

通勤、連絡、商用の足に、山林の巡回、燃料その他の物資の運搬に、あるいは医師の往診、患者の輸送など救急用に、広い用途が見込まれます。

オプションナルパーツをつければ、雪のない道も走れる便利な車。ヤマハスノーモビルを売るお店も、買うお客さまも、これからは冬を活動的に過せます。



雨がなんだ 風を斬れ  
 新らしい道を踏みつける 男のクルマ  
 それがヤマハトレールなんだ

**YAMAHA**  **DT1**  
**TRAIL 250**



登坂力 — **35°**  
 馬力 — **18.5ps**  
 トルク — **2.32**  
 時速 — **120 km/h**



**ヤマハ発動機株式会社**

ヤマハニュース NO.64  
 ●昭和43年10月1日発行

●発行所 ヤマハ発動機株式会社 静岡県浜北市中条  
 ●発行人 小池久雄